

## コロナ禍、パラリンピック開催中

8月24日からパラリンピックが始まった。コロナ禍、無観客で行う事が決まったため、予定していた聖火リレーの方法も急遽変わった。調布市内では、20日に深大寺で採火を行い、その火が届けられた。深大寺は平安時代、元三大師が鬼の姿となり疫病神を退散したと言われているお寺である。是非コロナからも守ってほしい。パラリンピックの選手をみていると、あらゆる障害を越えての人間の可能性を感じる。全ての人がある可能性を信じて個々の能力を存分に発揮した時、コロナという感染症も、地球温暖化が原因と言われている気象による災害も乗り越えられるのではないだろうか？まだ、諦めるには早いとパラリンピックを観戦して思った。

## コロナは「制御不能」、さらに長雨が追い打ち。この秋、命を守る方法は？

東京2020オリンピックが終わった途端に、新型コロナウイルスの感染が爆発的に拡大している。都内の1日の新規感染者は、8月13日には過去最大の5776人に達し、18日にも5386人となった。医療は危機的状況でコロナはもう「制御不能」。入院したくても入院が出来ない。都内の自宅療養者は2万4000人を超えている。調布市の感染者も増加するばかりで8月20日時点で累計3730人、21日には3810人。新規感染者は20日時点で74人増加、21日で80人増加と感染拡大が止まらない。こうした事態を受け、市立小・中学校の夏休みを1週間延長して9月5日まで夏休みとした(8月23日決定)。都内の自治体として夏休みの延長を最初に決めた。菅総理は「医療体制の確立、感染症予防、ワクチン接種を3本柱として国民の命と暮らしを守る」と言うが、誰もが後手の政府のコロナ対策に違和感を抱いている。医療総動員、野戦病院、入院疎開なんて言葉も飛び交い、まるで“戦時下”である。医療崩壊が進む以上は自分の命は自分で守るしか方法がない。

調布医師会の西田伸一会長は「これだけ感染拡大が続くとマスクや手指消毒、ワクチン接種の感染症予防対策に加えて『人ごみの所に行くな、家族以外との会食はしない』の2点を強調したい」とアドバイス。市内でも感染力の強いデルタ株が流行しているとのこと。10歳未満や10歳代の感染が増加傾向にある。子どもたちを守るためにも、大人は人ごみに行かないことだ。

一方、今年の夏は前線の停滞で各地に土砂崩れや洪水の被害が出た。調布市内にも8月15日深夜に洪水、大雨(土砂災害)警報が出され、続いて土砂災害警戒情報が出された。市内には実篤公園や若葉小近く、野川公園付近など52箇所の土砂災害警戒区域がある。これから台風や秋の長雨の季節になり、いつ、どこで大雨が降るかわからない。線状降水帯発生への恐れはどこにでもある。

市は一昨年(2019年)の台風19号による多摩川増水でレベル4の「避難指示」(当時は避難勧告)を出した。市の総合防災安全課の中川昇課長は「災害はいつ起きるかわからない。日頃から洪水ハザードマップで災害発生地域を確認し、市のHPなどで正確な災害情報の収集。避難する場所の事前確認も。避難情報が出されたら、念のための避難はためらわないでほしい。命を守る行動は早め、早めに」と語る。この秋はコロナと大雨のダブルパンチ。自分だけは大丈夫と思わずに、命を守る行動を最優先にしましょう。(大泉 清)

## 【FC 東京応援記】

このご時世だからなのか、FC東京に関する SNS の書き込みにも時々厳しい言葉が綴られる。監督や選手個人を批判する書き込みもある。愛ある鞭ならいいのだが、刺々しく言い放たれ、フォローの無い言葉には愛を感じない。優勝の期待が高かったシーズンで、この成績を残念に思っているファン・サポーターは多いと思う。しかしチームは真夏のアウェイ7連戦も3勝2敗2分けで乗り切り、勝ち点42の8位につけている。まだまだ、来期のACL 出場も狙える位置だ。チームに関わる誰もが勝利に向けて取り組んでいる。今こそ愛するチームを愛し抜こう！(日比生)

ちょビット

## 調布社協 インフォメーション



【調布社協キャラクター「ちょビット」】

今回より、この場をお借りすることになりました、調布市社会福祉協議会(調布社協)です。

調布社協は、「いつまでも住みつづけたいと思うまちづくりをめざして」を基本理念に、

●生活上のお困りごとの相談 ●高齢、障がい、子ども・若者、生活困窮などの福祉サービスの提供 ●住民や様々な機関・団体との協働による、地域でのつながりづくりや支え合いの活動の推進 などに取り組んでいる福祉団体です。

今後、調布社協の取組や地域で行われている活動を紹介していきますので、よろしくお願ひします！

# 2021年9月 番組表





＜調布市民放送局の番組を見ることができます＞

◆ 姉妹都市木島平村のケーブルテレビ「ふう太ネット」で放送中！

## 調布 C A T C H J:COM 111chにて1日2回放送

テレビ番組

	月	火	水	木	金	土	日
	8:55 17:55	8:55 17:55	8:55 17:55	8:55 17:55	8:55 17:55	8:55 17:55	8:55 17:55
1日	① コロナ禍のスポーツの祭典 東京2020オリンピック IN 調布 ブルーインパルスが調布上空に登場した7月23日、スポーツの祭典東京2020オリンピックが開幕。コロナ禍のため、沿道での応援にも自粛要請が出され周辺道路も交通規制され全会場無観客での開催となりました。						
15日	② リトルギャラリー: ミスミ エリさんの 羊毛フェルト『自由さと可能性』 生き生きとした表情の動物をモチーフにした作品は、どの作品も心を明るくしてくれるものばかりです。可愛くて自由なフェルトの世界をご覧ください。可愛い帽子も、花や葉っぱもあります。						
16日	① 東京2020パラリンピック「東京都の火」 深大寺で東京2020パラリンピック聖火リレーの採火式が行われ、その火はカイロに納められ都庁へ運ばれ集火式が行われ「東京都の火」となり、ランタンに納められ、たづくりエントランスホールで公開されました。						
30日	② パラアート展: たづくり2階のギャラリー(8月26日～9月4日) 市内の福祉作業所などで制作されたアート作品展「調布市パラアート展2021」が開催されました						
	③ よさこい祭り2021: 昨年中止となった「調布よさこい」がコロナ禍でも市民の皆さんに元気を出してもらおうと、今年はオンラインでの開催を決定。くすのきホールで収録が行われました。						

ラジオ

「調布わくわくステーション」(毎週月曜日、21時45分～22時00分)			
調布 FM:83.8MHz HP からは、インタビューの様子を映像でご覧いただけます。どうぞお楽しみに！			
月	放送日	内容	ご紹介
9月	6日(再放送) 13日(再放送)	「わたし猫ですわ」第3回 「わたし猫ですわ」第4回 朗読	今回はリクエストにお答えして、宮本苑生作 超短編連載詩物語「わたし猫ですわ」の朗読を放送します。 朗読:あきのめぐみ
	20日(放送) ※時間変更 11:15～11:30 27日(再放送)	宮本苑生監修 詩の世界 清水茂詩集の朗読	清水茂詩集『私のものではない言葉を』『ふたつの掌に』から抜粋してお送りします。朗読:峯田里香子

HP

新型コロナウイルスの影響で家で過ごされている方、この機会に地域の情報を見てくださいませんか！インターネットで、いつでもすべての番組を見ること・聴くことができます。

🔍 調布市民放送局で検索

<http://chofu-catch.or.jp/> (公式 HP) (すべての番組2015年～現在まで)

<http://chofu-catch.sakura.ne.jp/> (アーカイブサイト)(2004年4月～2015年3月)

<https://www.facebook.com/chofubroadcast> (フェイスブック支局) (2015年～)



### 警察官や金融機関をかたる者に キャッシュカードを渡すな

キャッシュカードを狙う特殊詐欺では警察官や金融機関をかたる犯人から事前に電話が入る。「あなたのカードが使われています。今から伺いますので、カードを用意しておいて下さい」といった内容。「この電話は詐欺です。怪しいと思ったら警察に連絡を」と調布警察署(電話042-488-0110)が注意喚起。

### 9月9日は救急の日。

#### 救急車は適正な利用を

熱中症などで救急要請が多い。調布消防署の令和3年7月の救急車出動は992件。救急車を呼ぶか迷った時には「#7119」東京消防庁救急相談センターに電話を。「救急車の適正な利用をお願いしたい」と調布消防署(電話042-486-0119)が呼び掛けています。



＜ご意見・ご感想をお待ちしています＞ メール [catch@chofu-catch.sakura.ne.jp](mailto:catch@chofu-catch.sakura.ne.jp) ☎ 070-5576-1429

郵便 〒182-0022 調布市国領町 2-5-15、調布市民プラザあくろす 2階 市民活動支援センター-気付

【編集・発行】NPO 法人調布市民放送局 (事務所) 〒182-0035 調布市上石原 1-48-14